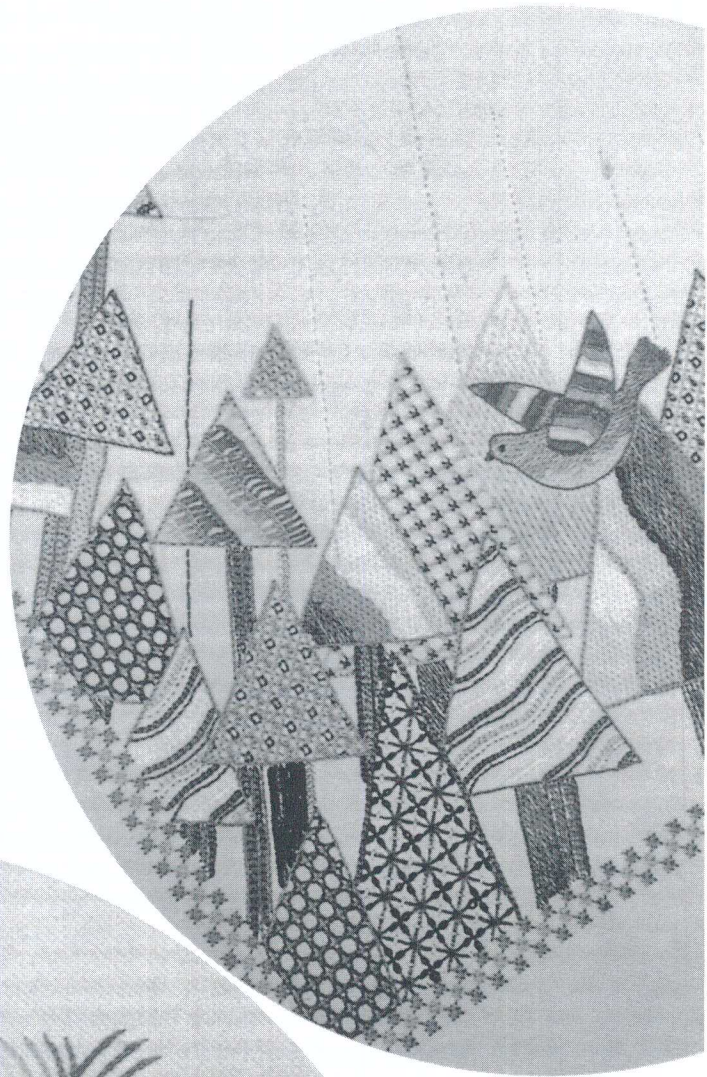


てるびっと

2000. 3.

No.6



京都府・海外研修KYOのあけほの会



海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子

21世紀を目前に、ミレニアム2000年が幕開けいたしました。会員の皆様には、ますますお元気に、ご活躍の事と拝察いたします。

当会も創立以来12年目を迎えて、会の基盤も固まる中で、会員相互の交流が更に大きく発展して行く時期にさしかかったといえましょう。

しかし世の中の急激な変化のさまは、予想を遥かに越える速度で、私達の身近に起きています。そしていずれの分野を問わず、改革を進めようとする動きにつながっています。

私達もさきに「国際婦人年」を宣言し、北京での第4回世界女性会議をへて女性の地位向上を高くうたい上げて以来、数々の実績と運動の成果を共有してきましたが、本年はニューヨークで「女性2000年会議」が開催されます。男女共同参画社会の実現に向けて、更に力強く改革を計るべき時が来ております。

女性が特有の優しく、細やかな視点から世の中の諸問題の解決に向けて力を出し合う事が、世界の平和と繁栄のために不可欠であると確信いたしております。

「海外研修KYOのあけぼの会」は京都の女性関係団体のリーダーの集まりです。その自覚のもとに海外研修、国内研修の積み重ねによる広い視野からそれぞれが運動の核となり、大いに地域社会の発展に参画し、貢献してまいりたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



京都府女性政策課長
浜野 令子

急速な少子・高齢化の進行、終身雇用等日本型雇用慣行の崩壊、IT革命とも呼ばれるインターネットの普及等、時代は今、大きな音を立てて変わっていきます。「21世紀がどのような時代になるのだろうか」といつい時代の変化を不安げに見つめてしまい勝ちですが、「21世紀をどのような時代にしていきたいのか」と発想を変えると少しは元気ができます。

昨年男女共同参画社会基本法の成立は、「男は仕事・女は家庭」の性別役割分業社会から、男女がすべての社会的領域に参画し共同決定していく新しい社会システムを創っていく画期的な第一歩といえます。

次は、私たちがどのような社会を望み、どのように暮らしたいのかを充分話し合い、当事者やまわりの人々にとっても居心地のよい男女共同参画の多彩なイメージを具体的に家庭や地域や職場でつくりあげていく時代。そのための女性の力量（エンパワーメント）が問われています。

今年は、「平等・開発・平和」をにかけて取り組まれた国際婦人年から25年、女子差別撤廃条約批准から15年であり、6月には「女性2000年会議」が世界の女性が注目するなかニューヨークで開催されます。

またとない時代の転換期を共に生きる仲間としてグローバルな視点で考え、様々な変化を柔軟に受け入れる勇気を持ち、次世代の妹や娘、孫たちにしっかりとバトンが渡せるように私たちの夢を育てていきたいと願っています。

海外研修で得た新たな発見と皆様のネットワークの力は行政の力強いパートナーとして男女共同参画社会の実現に大きな力を発揮していただけると確信いたしております。

第11回 KYOのあけぼのフェスティバル'99

ネットワーク～自分らしく生きるためのステップ～
平成11年10月15日(金)・16日(土) 於：京都府民総合交流プラザ

今年度の「KYOのあけぼのフェスティバル」は、実質的な男女平等の実現を目指し、京都府内の男女が一同に集い、学び、そして刺激しあえる「エンパワーメント」醸成の場とするため、広く府民の方々にワークショップが公募され、自主的な参加を期待して開催されました。

10月15日(金)

- オープニング「マンドリン演奏」
- 式典(京都府あけぼの賞表彰式)
- 基調講演
「新しい明日をひらく鍵ー男女共同参画社会基本法」
講師 樋口 恵子氏
- ワークショップ
 - ① 地域を活かそう！
パートナーシップと家族経営協定
 - ② シルバー世代のおしゃれ 感覚と衣のじっさい。
高齢者の生き方と被服の関連性
 - ③ 手づくり工房「命みつめて」
 - ④ 地域の特産品開発にとりくんで
 - ⑤ “旬の食材” 買い物ゲーム
 - ⑥ 海・舞鶴からの発信
 - ⑦ 自分に出会うワークショップ～関係のなかの私～
 - ⑧ 歩くことと足と健康
- おふくろ名人いきいき交流広場
お願い
公募企画ワークショップ部門を担当した「海外研修KYOのあけぼの会」としては、次年度は是非このワークショップに本会からも、たくさんの応募者があることを希望します。

10月16日(土)

- 映画上映「愛を乞うひと」
- 実行委員会実施企画
 - ① 講演とシンポジウム 講師 筒井 清子氏
「男女共同参画社会をめざして
～自分らしく生きるためのステップ～」
 - ② ふれあいスポーツ
「ニュースポーツ体験コーナー」
- ワークショップ
 - ① 私らしく出来ることから一歩ずつ
 - ② 女性にとっての姓と性
 - ③ 和紙ちぎり絵講習
 - ④ 世界ののみものと時事英語トーク
 - ⑤ メディア・ウォッチング
～商品広告に見る女性～
 - ⑥ 国際いどばたどたばた会議 PartIV
 - ⑦ お茶席「一服どうぞ」
 - ⑧ 学習・活動・交流のプロセスでエンパワーメント!
 - ⑨ 楽しい絵手紙 へたでいいへたがいい
 - ⑩ こころとからだのコミュニケーションワーク
 - ⑪ パネルディスカッション
「肥満・高脂血症の予防のために」
- おふくろ名人いきいき交流広場

ワークショップ「和紙ちぎり絵」を開いて

武田 公子

絵でも写真でもない不思議なアートに魅せられた上、近くにお住まいの優れた先生を指導者にお迎えする事ができて、私達の学区で「和紙のちぎり絵サークル」が始まりました。

そしてある日、第11回KYOのあけぼのフェスティバル'99におけるワークショップ出演の誘いを受けました。当日は、「心いっぱい美しい心を育てよう」のテーマのとおり、夢中で和紙に取り組んだ一日でした。ちぎり絵は、手先を小まめに使う作業で老化予防の効き目もさる事ながら、身近な事物をじっくり観察して、心に響く美しいものに素直に感動する柔らかな

感性を磨くものと常に説かれる先生のお考えを、一人でも多くの人に知ってもらおうとの一心でした。

予想を上回る約50名の方々が熱心に手ほどきに耳を傾けてくださり、大いに盛り上がり私達助手はてんてこ舞の連続でした。

これからも、私達の周りに潜む美を発見していく喜びをみんなと共有して「ちぎり絵」の世界を広げて行きたいと思っています。



1999年度海外研修KYOのあけぼの会研修事業

1999年11月8日(月) 於：JA京北町農協営農センター

環境に優しい緑の里京北町において、留学生(京都府名誉友好大使)凌 淑倩さんを招き、研修会を実施しました。初めに、上海出身の凌さんに「出身国における女性の地位と問題点」と題して講演をしていただきました。杉本ナツさんからの説明の後、会員と交流をしながら共に北山杉染めを楽しんでいただきました。

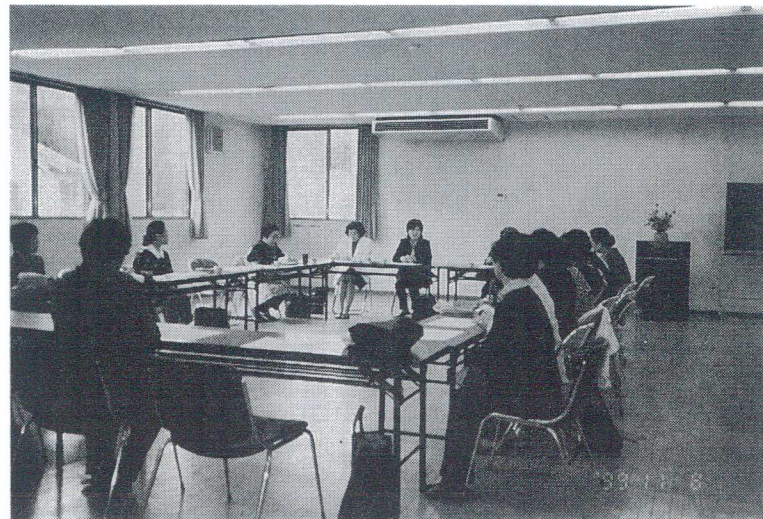
*講演の概要

「中国において、以前の男性優位という時代から、1949年、中華人民共和国が成立し毛沢東の時代になってから、『中国の空を大きく二つに分けて、空の半分は女性が占める』というスローガンが掲げられ、それからの中国は女性も社会へ進出するように変化してきました。

戦争によって男性が少なくなった頃は、人口も減ってきて、どんどん子どもを増やすように呼び掛けられ、5~7人の子どもがいる家庭が普通になりました。しかし、その中国も、最近は一子政策が叫ばれ、以前のような子沢山は本当に珍しくなりました。

生家は叔父さんの家族と同居で、8人の面倒をお母さんが見ていました。お母さんは朝食の世話をしてから会社へ行き、帰宅後夕食の買物をします。夕食の準備は両親が手分けしてお父さんが野菜を洗い、お母さんが作るといったような生活でした。

中国では、女性は社会進出をするようになってから、社会でも家庭でも、自分のやりたいことを割合自由にしていると思います。また、男女が会社に同



凌さんによる講演

時に就職した場合、その後は本人次第で、女性の能力が上であれば男性よりも高収入を得、出世するケースも沢山あります。そのような面では中国の女性は、他の国の女性と比較してチャンスの割合は高いと思います。しかし、中国は広く、地域によって差があり、田舎(奥地)では、まだまだ男性優位のところも多く残っています。」

以上のようなことを話され、自分を生かすために努力を惜しまない中国女性の生き方に学ぶところがいっぱいでした。

日本においても昨年6月、男女共同参画社会基本法が施行されました。人権が尊重される社会を目指す基本法が機能すれば、21世紀の日本社会のあり方も大きく変わると思います。しかしながら、男女雇用機会均等法、育児休業法、介護保険制度と法律・制度は整ってきましたが課題はまだ山積しています。

あらゆる分野において活動に参画する機会を得、性別による差別を受けずに、能力を発揮する機会が確保されるに至るまでには、私たち一人ひとりが幅広く議論を深め、意識を変えていかなければと思います。



やさしいスカーフの染め上り

研修会に参加しての感想

京都府名誉友好大使 凌 淑倩

11月8日、海外研修KYOのあけぼの会のおかげで、大変良い体験をさせていただきました。

京北町は、緑豊かな自然の町であり、北山に囲まれ、日々深まりつつある紅葉と秋の爽やかな気候と相まって、自然に心が和みます。普通の学生生活とはまったく違い、そしてあけぼの会の皆様が、素敵な方ばかりで、あの熱い、情熱的な雰囲気包まれて、楽しく、有意義なしかも忘れがたい一日を過ごすことができました。あけぼの会の皆様、本当にありがとうございました。

京都府にある北山は、杉で有名です。木の幹は細くて、まっすぐ上に伸びていて、その勢いはまるで空を突き破るように、とても立派で雄壮に感じられます。聞くところによりますと、この杉の葉の成分は年間を通じて変化し、品種や樹齢によっても発色が異なり、また、他の草木よりも発色が多そうです。

「杉染め」については、文献に、平安時代「麻杉染」という色があげられており、特定の身分の方しか使用できなかったと記されています。また、正倉院文書には「須岐染」という記録も残っています。

私たちは、農協営農センターで秀グループの指導のもと、ハンカチとスカーフを染めることにしまし

た。まず、自分の好きな色の桶の中に漬けますが、時間が長ければ長い程色が濃くなります。また、二色、三色さらに多色でも染められます。好きなように真ん中を結んで、それぞれの色の桶に漬けると、もう一つの芸術品ができます。順番に色を漬けると、いろいろな間色に染め上がったものもできます。染め終わったら、水で洗って、アイロンを掛けてきれいなハンカチとスカーフが出来上がります。仕上げた時、自然に近く、穏やかなあの色合いはなんとも言葉で表せないほど美しいものでした。皆それぞれ違うものができ、本当に感心しました。大自然の中に、なんて美しいものがあるのだろう…もし皆の芸術品を出し合えば、展示会もできるのではないかと思います。

帰りに、みんな車の中で中国のこと、特に中国の女性のことについて、いろいろ質問をされましたが、さすがに海外研修KYOのあけぼの会で、海外のことに感心が高いと感じました。

みんな私の姉やお母さんのように接してくれ、涙が出るほど感動しました。

日本という海外にいる私ですが、あけぼの会の皆様のおかげで、とても幸せだと思いました。

また機会があれば皆様に会いたいなあ!

北山杉染めはいかがでしたか

北山杉染秀 杉本 ナツ

山の木々も色づき始めた北山杉の里へ、去る11月8日、19名の会員の皆様が、自然の醸し出す彩を求めて集われました。

杉染の実技に入ると皆さんの眼は輝き挑戦意欲満々。

京都の木でもある北山杉の葉を煮込んだ原液と、その杉のもつ色素を引き出す媒染液との作用により醸し出す色は、杉の年輪、種類、育っ

た土の質、日光の当り具合等々で数え切れない程です。しかし、自然を相手にするため、その日その時によって色の出方が違い、今日の出方はどうかと心配していましたが、「ワーきれい」と満足気が声が聞え、私達も安堵の胸をなでおろし杉の葉に「ありがとう」と言いたい気持ちでした。

白い布からピンク、黄、グレー、またそれらを重ね合せた趣きある彩に染まったストールやハンカチを手に首に記念写真を撮り再会を楽しみにバスの人となられました。

男女共同参画に関する国内外の動き

世界的に社会が変化するスピードも年々加速し、1900年代の最終年である昨年には、「男女共同参画社会基本法」が策定されました。本年は20世紀の最終年。来年からは21世紀です。

そこで、戦後から本年までの男女共同参画に関する国内外の主な動きを年表にしてみました。皆さんのこれまでの生活等を振り返りつつ、新しい時代を男女共同参画で暮らし、活動していくことについてお考えになられてはいかがでしょうか。

年次	世界の動き	日本の動き	京都府の動き
1945年(昭20)		・婦人参政権確立(46年女性39人当選)	
1946年(昭21)		・日本国憲法公布(47年施行)	
1975年(昭50)	・国際婦人年(目標:平等、発展、平和) ・国際婦人年世界会議(メキシコシティ)、「世界行動計画」採択		
1976年(昭51)	・国連婦人の十年はじまる(85年まで)	・民法等の一部改正施行(離婚の際の姓自由選択)	
1977年(昭52)		・「国内行動計画」策定	・女性政策担当窓口設置
1979年(昭54)	・国連第34回総会「女子差別撤廃条約」採択		・知事に京都府婦人問題協議会が「提言」提出
1980年(昭55)	・「国連婦人の十年」一平等、発展、平和一中間年世界会議(コペンハーゲン)		
1981年(昭56)		・民法一部改正施行(配偶者の相続分1/3から1/2へ)	・「婦人の地位の向上と福祉の増進を図る京都府行動計画」策定・公表
1982年(昭57)			・「京都府婦人海外研修」実施
1984年(昭59)		・母子世帯で離別が死別を上回る ・既婚女性のうち共働き女性が家事専業者を上回る	
1985年(昭60)	・「国連婦人の十年」一平等、発展、平和一ナイロビ世界会議(西暦2000年に向けての)「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」採択	・「国籍法」改正施行(子には父か母の日本国籍を与える) ・「男女雇用機会均等法」公布(86年施行) ・生活保護基準の男女差解消 ・「国民年金法」一部改正(86年施行:女性の年金権確立、被扶養の妻は保険料免除) ・「女子差別撤廃条約」批准	・ナイロビ世界会議NGOフォーラムへ女性6名を派遣
1987年(昭62)		・西暦2000年に向けての国内行動計画策定 ・「所得税法」の改正施行(配偶者特別控除制度創設) ・「アグネス論争」(子連れ出勤論争) ・有責配偶者からの離婚請求を条件付きで認める	・京都府婦人関係行政推進会議発足 ・京都府婦人問題検討会議設置(88年知事に行動計画に関する「提言」提出)
1989年(平成)		・日本初のセクハラ裁判、「セクシュアル・ハラスメント」が流行語に ・第15回参議院選挙で女性22人当選(マドンナ旋風) ・短大を含む大学進学率で女子が男子を初めて上回る	・「KYOのあけぼのプラン」策定・公表 ・女性政策課を設置 ・女性政策推進本部、京都府女性政策推進専門会議を設置
1990年(平2)	・「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論」採択	・合計特殊出生率が1.57とこれまでの最低(1.57ショック) ・大卒女子の就職率61%で男子と並ぶ	
1991年(平3)		・「育児休業法」の公布(92年施行) ・大卒女子の就職率61.8%で男子を上回る	
1993年(平5)	・国連世界人権会議「ウィーン宣言」採択(「女性の権利は人権である」) ・国連総会第3委員会「女性に対する暴力撤廃宣言」採択	・「パートタイム労働法」施行 ・中学で家庭科が男女共修(高校は94年)	
1994年(平6)	・国際家族年、カイロで国際人口・開発会議「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を宣言	・男女共同参画室設置 ・日本人女性初の宇宙飛行士、向井千秋さん宇宙へ	・京都府女性政策推進専門会議「プラン改定についての提言」提出
1995年(平7)	・第4回世界女性会議一平等、開発、平和一のための行動(北京)、「北京宣言及び行動綱領」採択	・「育児休業法」改正(99年施行:介護休業制度法制化) ・阪神・淡路大震災で被災者に女性問題顕在化 ・女子学生就職難「超次河期」	・府内初の女性市長(野田川町)誕生 ・第4回世界女性会議NGOフォーラムへ代表団を派遣
1996年(平8)		・「男女共同参画ビジョン」答申 ・「男女共同参画2000年プラン」策定	・KYOのあけぼのプラン改定 ・京都府女性総合センターを設置
1997年(平9)		・「男女雇用機会均等法」の改正 ・「介護保険法」の公布	
1998年(平10)		・「労働基準法」一部改正施行(女子保護規定撤廃)	
1999年(平11)		・「男女共同参画社会基本法」公布・施行 ・合計特殊出生率が1.38と過去最低 ・低価格ビルの発売がスタート	
2000年(平12)	・国連特別総会「女性2000年会議」(ニューヨーク)開催予定		・新女性行動計画策定予定(平成12年度中)

編集後記

会員の皆様にはそれぞれの分野で21世紀にむけてますます意欲的に活躍のごこと存じます。1999年度の活動をまとめた『てるびと』のあちこちからも皆様の人生の輝きが息づいているさまを感じます。そして21世紀は人としての強さ、やさしさを見失わず、きらきら輝く明るい社会にしていきたいものです。前号からの「ねっとわーきんぐ」、皆様の活動に感動しながら編集に臨んでいます。輪と和がさらに実感できる『てるびと』になればと心から願っております。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

発行責任者 海外研修KYOのあけぼの会
役員一同

表題「てるびと」は、京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)「あけぼの」の意味です。京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」しだれ桜、さが菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。を戸塚フランス刺しゅうで表現したものを表紙絵としています。

▶ 1999年度総会及び研修会 ◀

日時 平成11年4月30日(金)午後1時30分～
会場 京都府国際センター研修室

★総会

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 議 事
 - ① 1998年度事業報告
 - ② 1998年度収支決算報告
 - ③ 1998年度会計監査報告
 - ④ 役員選出
 - ⑤ 1999年度事業計画(案)審議
※11月 体験研修
※10月15日・16日
KYOのあけぼのフェスティバル
 - ⑥ 1999年度収支予算(案)審議
 - ⑦ その他
6. 新入会員紹介(自己紹介)
7. 閉 会

★研修会

テーマ 「日本とアメリカの女性に架ける橋」
パネラー 1998年度海外研修団員